

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局： TBS	番組名：報道特集	放送日：2019年2月9日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、日比麻音子 岡田沙也加(気象予報士)		
検証テーマ：米朝会談に向けて、自民党地方組織幹部会合、タイ王女の首相擁立見送り、拉致問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東に雪、想定ほど積もらず</li> <li>・最強寒気で北海道陸別町の気温が-31.8℃</li> <li>・千葉県野田市の小4女子虐待死事件</li> <li>・米朝会談に向けて</li> <li>・自民党地方組織幹部会合</li> <li>・豚コレラの起点で殺処分終了</li> <li>・タイ王女の首相擁立見送り</li> <li>・拉致問題</li> <li>・オリンピックボランティア応募者説明会</li> <li>・退陣女性殺害の疑いで医学生逮捕</li> <li>・【特集】 ついに強硬捜査！オーナー商法の闇を追う</li> <li>・【特集】 AI時代を生き抜く教育</li> <li>・スポーツ報道</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニング：結論→特に問題なし 番組の冒頭で金平キャスターが「学校、児童相談所、周囲の人々、父親から虐待を受けていた幼い女の子の SOS は結局、どこにも届きませんでした、どうしてこんな事になってしまったのでしょうか、その酷い現実を私達は忘れずに考え続けることが必要だと思います。」とコメントしていた。このシーンに当てられた時間は17秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。</li> <li>・米朝会談に向けて：結論→特に問題なし アメリカのトランプ大統領は二回目の米朝首脳会談についてベトナムの首都ハノイで開催すると発表したこと、トランプ氏はツイッターで「北朝鮮は金正恩党委員長の指導のもと、偉大な経済強国になる、異なる種類のロケット、経済のロケットになるだろう」と書き込んだとのこと、こうした中の平壤での実務者協議を終えて韓国入りしているアメリカのビーガン北朝鮮担当特別代表はカンギョンファ外相やイドフン朝鮮半島平和交渉本部長らと面談し北朝鮮側との協議内容を「数日間に渡り生産的な協議でした。二回目の米朝首脳会談を楽しみにしています。」と説明したこと、また、ビーガン氏は外務省の金杉アジア大洋州局長とも会談したこと、一方の北朝鮮の朝鮮中央テレビは午後三時過ぎから昨日の朝鮮人民軍創建71周年の記念日の様子を放送し、「金党委員長は演説で軍事力の強化や訓練内容の改善などを支持したのに加え、今年は経済発展の要の年である」と強調したがその一方で核やミサイルに関する言及はなく今月末の米朝首脳会談に配慮したと見られるとのことが伝えられた。</li> </ul>		

このトピックについて当てられた時間は 122 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・自民党地方組織幹部会合：結論→特に問題なし

明日の党大会を前に開かれた地方組織の幹部らとの会合での安倍総理の「勤労統計におきまして、長年に渡って不正な調査が行われてきた、そして長年に渡ってこれを見抜けなかったことに付きまして、責任を痛感しております。」という発言が取り上げられていた、一方でこの問題と私達が進めている経済政策、アベノミクスは全然関係ない話だ、とも話し、雇用の改善などの成果も強調するとともに、今年はずいぶん選挙の年だとして、統一地方選挙と参議院選挙に勝ち抜いていこうではないか、と地方組織の協力を要請したとのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 71 秒だった。

自民党の動きのみを取り上げたものであったが、党大会を取り上げたものであるというトピックの性質上仕方のないことであり、他の政党の党大会やその前日の会合などについても同様に取り上げているのであれば、放送法上は問題ないと考えられる。

・タイ王女の首相擁立見送り：結論→特に問題なし

タイのウボンラット王女を首相候補として擁立したタクシン元首相派の政党「タイ国家維持党」は一転して王女の擁立を見送る方針を明らかにしたこと、これは、「全ての王族は特定の政治的立場を取ることはできないとして擁立は不適切だ」とする国王の声明発表を受けたもので、国家維持党は「王の言葉に忠実に従う」としているとのこと、軍主導の暫定政権が続くタイでは来月の総選挙に向け親軍政派とタクシン元首相派とが激しい主導権争いを展開しているとのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 39 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・拉致問題：結論→特に問題なし

都内の高校生らが参加した北朝鮮拉致問題の解決を願う集会での菅官房長官の「若い世代も含む幅広い国民の皆さんの声が一層大きくなることは拉致問題解決に向けての力強い後押しとなります。」という発言が取り上げられたほか、総理を中心にあらゆるチャンスを見逃さず政府をあげて取り組む、と改めて解決に向けた決意を強調し、そのうえで今月末に予定される米朝首脳会談を前にアメリカや関係諸国と連携しながら拉致問題の解決に全力で取り組む考えをしたことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 53 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし